

子どもの習い事の送迎サポートの取組みについて

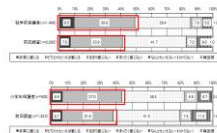
「子どもの習い事の送迎サポート！育児と仕事の両立を応援したい！」

解決したい課題

子育て世帯は、「育児と仕事で時間に追われ、一息つく時間もない」「送迎が大変で習い事を諦めてもらっている」などの時間的な余裕のなさを抱えている。

○子育てへの不安や負担を感じるが

【調査結果】全小中学生の保護者 子育てに際して不安や精神的負担を感じるが、
・「費用に感じる」「どちらかといえば慣れている」を占めていた。保護者の負担軽減は、小学生保護者で6.3%、小学生保護者で6.9%を占めており、負担軽減より増加している。



子育てへの不安や負担感
について、前調査より
比べて増加



背景

- ・豊中市では「子ども政策の充実・強化」を今年度の経営戦略の重点政策に位置付け、地域の活性化・発展戦略として「子育てしやすいNo.1」をめざし、計画的に取組みを進めている。
- ・その主なものの一つである「『小1の壁』の解消」の一環として、民間も含めた子育て支援サービスの利用しやすさを向上し、保護者の自由時間を作り出す支援を行う「フリータイムプロジェクト」事業を実施し、子育てに対する経済的・精神的な負担の軽減をはかっている。

実証内容

小学校低学年などを対象に平日の放課後や土日など希望する時間や場所間で利用できる送迎支援を市内で一定期間運用し利用ニーズや課題を把握する。

ご提案企業

hab株式会社（神奈川県横浜市）



地域の子供たちが相乗りしてタクシーに乗車し、目的地に向かう子ども専用の相乗りタクシーサービスです。



出典：hab株式会社提案資料

提案内容

- ・地域のタクシー会社や子供向け施設と連携し、子ども専用相乗りタクシーのプラットフォームを用い保護者の送迎負担を軽減する。
- ・hab（株）の子ども専用配車システムを組み込み、協業するタクシー会社との連携及び施設への営業を行う。

選定ポイント

- ・事業者等のニーズ把握と送迎の試行が盛り込まれている。
- ・第2種旅行業免許を保有し、連携先のタクシー会社が輸送を担う。